

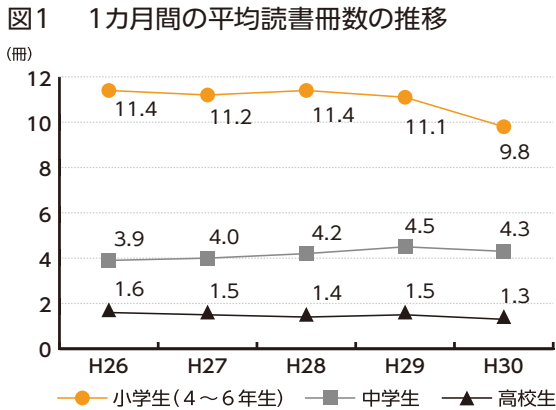
# 本が育む豊かな心

子どもから大人まで誰もが楽しめる趣味、「読書」。今回の特集では、岡垣サンリーアイ図書館の利用者の声などを交え、本を読むことの楽しさなどを紹介します。

問い合わせ 生涯学習課

## 読書量は年齢によって大きな差がある

皆さんは、1か月に本を何冊読みますか。「毎日欠かさず読む」「休日にしか読まない」「最後に読んだ



のはいつだろう」……。読書の習慣は人それぞれですが、仕事や勉強などで忙しく、本を読むことに時間を割けない人も多いかもしれません。

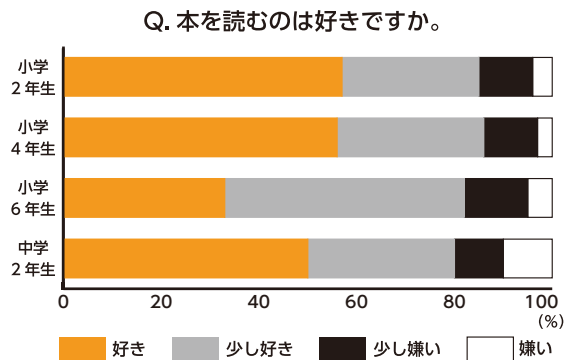
平成30年に行われた「学校読書調査」によると、子どもの1か月の平均読書量は小学生が9.8冊、中学生が4.3冊、高校生が1.3冊と、年齢が上がるにつれて「読書離れ」が進む傾向にあることが分かっています(図1)。

また、今後はテレビやインターネットなどの情報メディアのさらなる発達や生活環境の変化により、年代にかかわらず読書をする機会が減っていくことが予想されます。

## 岡垣町の子どもの多くは「読書好き」

全国的に「読書離れ」が懸念される中、岡垣町では「家読」をは

図2 読書に関するアンケート(町内小・中学校)



じめとした家庭や地域での読書活動を推進しているほか、町内のボランティア団体による読み聞かせ活動が、図書館や学校などで活発に取り組まれています。

平成27年に町内の小中学生435人を対象に行ったアンケートによると、読書が好き、または少し好きと答えた児童生徒は全体の約8割を占めていて(図2)、家庭や学校、地域での活動成果が表れたものと考えられます。

## 「家読」って何だろう

家族で読書の習慣を共有することを「家読」といいます。読書に慣れ親しむきっかけになるほか、家族のコミュニケーションが深まる効果も期待されます。

### 【「家読」の例】

- 家族で1日20分～30分程度、好きな本を読む時間をつくる

- 親から子へ(または子から親へ)本の読み聞かせをする
  - 家族で同じ本を読み、それぞれの感想を話し合う など
- 家で過ごすことが増えた今、皆さんも家族での読書活動に取り組んでみませんか。





■岡垣サンリーアイ図書館（岡垣町野間1丁目2番1号）  
 開館時間 午前10時～午後6時  
 休館日 ●毎週水曜日●毎月最終月曜日（7月・8月を除く）  
 ●12月29日～1月3日●2月第3火曜日 など  
 貸出数・期間 ●図書＝10冊以内、15日以内●視聴覚資料＝2点以内、8日以内  
 問い合わせ ☎093-282-5566

表1 岡垣サンリーアイ図書館の蔵書数など  
 （令和2年3月31日現在）

蔵書数 （冊）	内訳			計
	児童向け	中高生向け	一般向け	
	25,411	2,176	64,655	92,242
視聴覚資料数 （点）	内訳			計
	CD	DVD	ビデオ	
	2,371	2,658	96	
令和元年度貸出数（冊）				142,928
令和元年度利用者数（人）				123,954

学力の向上にも貢献！  
 読書には多くの効果がある

読書は、単に言葉を学んだり物語を楽しんだりするだけのものではありません。本を読むことで、物事を理解する・考える力が高まったり、新たな知識が身に付いたり、読書にはさまざまな効果があります。また、文部科学省によると、「読書が好きなお子」は、教科の学力が高い傾向にある」ということも分かっています。本を読むことは、学力面でも大きなメリットがあるといえます。

子どもが読書に興味を持つため



には、親が選んだ特定の本を押し付けてもうまくいきません。あくまでも、子ども自身の興味・関心に沿って、自由に本を選んでもらえるような環境づくりが重要です。例えば、幅広いジャンルを取り揃えた本棚などがあれば、読みたい本を選びやすくなるでしょう。

しかし、一般の家庭でそのような環境を整えるのは難しいもの。そんなときは、無料で利用できる図書館や学校の図書室などを上手に活用しましょう。

**岡垣サンリーアイ図書館を使ってみよう**

岡垣サンリーアイ図書館には、9万冊以上の蔵書があります。図書館は町内外の多くの人に利用されていて、年間で延べ14万冊以上の本を貸し出しています（表1）。

次のページでは、図書館の使い方やサービスに関する詳しい内容を図書司書が紹介します。



図書司書  
吉田 今日子さん

図書司書  
小川 早紀さん

皆さんの疑問を図書司書が解決!

# 図書館利用の



予約した本は町立公民館や情報プラザの駅、ボランティアセンターでも受け取れます。図書館または蔵書検索・予約システムで申し込むときに、受け取りを希望する施設などを指定してください。

**Q. 岡垣サンリーアイ以外でも本を受け取れるの?**

岡垣サンリーアイ公式ホームページの蔵書検索・予約システムで検索できます。また、利用者カードがあれば借りたい本の予約も可能です。利用者カードは図書館の窓口で発行できます。名前と住所が分かる身分証明書を持って来てください。




▲蔵書検索・予約システム

**Q. 蔵書はどのように調べてみるの?**

当館の定める図書の見定め基準に基づいて選定します。利用者からのリクエストにできるだけ応えつつ、各分野の一般的なものや多くの世代に手に取ってもらえるもの、今後の需要が高まることが予想されるものを選定するよう努めています。なお、選定と発注は基本的に週に一度行います。届いた本は検品や登録を経て、皆さんに貸し出せる状態になります。

**Q. 図書館に置かれる本はどうやって選ばれるの?**




**「バムとケロのおかいもの」**  
著者：島田ゆか 出版社：文溪堂

図書司書のコメント：1999年出版の「バムとケロ」シリーズです。市場でのおかいものシーンは、ページをめくる手を止めてしまうほど愛情いっぱい描き込まれていて、島田ゆかワールド全開。どの時代の子どもたちにも根強い、人気の理由が分かります。当図書館20年間の貸出回数、ベスト1。

「今日は何を読もうかな...?」そんなあなたにオススメ!

## サンリーアイ図書館年代別人気図書


20年間の貸出冊数の統計から、特に人気が高い図書を図書司書のコメント付きで紹介いたします。あなたも読んでみませんか。



**「ビブリア古書堂の事件手帖II ~扉子と空白の時~」**  
著者：三上延 出版社：KADOKAWA

図書司書のコメント：2012年から続くロングセラー。実在する古書をめぐり、店主と奇妙な客人たちが古書に隠された秘密を追うミステリーです。作

中では夏目漱石や太宰治などの作品が取り上げられていて、今の若い人たちにもっと近代文学に触れてほしいという、作者の願いが込められています。



**「ラプラスの魔女」**  
著者：東野圭吾 出版社：KADOKAWA

図書司書のコメント：出版される作品が常にベストセラーとなる超人気ミステリー作家・東野圭吾。本書は、理系である作者の知識がミステリー

の中に科学的な根拠を漂わせ、未来を予測する力や脳科学の神秘性などを取り扱い、知的好奇心を非常に高めてくれる作品です。

もっと

## 新型コロナウイルス感染症対策 岡垣サンリーアイ図書館が **充実!**

### ■図書除菌機 (令和2年10月導入)

紫外線で本を除菌し、ページの間まで風を当ててゴミやニオイを取ってくれる機器です。貸出後、一度に6冊の本を30秒で除菌・消臭できます。



### ■電子図書館 (令和3年4月導入予定)

自宅のパソコンやスマートフォンなどから図書館システムにアクセスし、電子書籍を借りて閲覧できるようになります。  
※7千冊程度の蔵書を予定

図書館からのお願い

借りた本は大切に扱ってください

図書館の本は多くの方が使うものです。みんなが気持ちよく利用できるようにご協力をお願いします。

- 落書き・切り取りをしないでください
- 食べこぼし・水濡れに注意しましょう
- 傷んだ本は自分で修理せず、返却時に図書館スタッフに伝えてください



【写真左から】

山本亜也さん、鈴乃ちゃん、琴晴ちゃん

岡垣サンリーアイ図書館をよく利用し、親子で読書を毎日楽しむ山本さん。家族で本を読むことの魅力を教えてもらいました。

お子さんはどのような本を読みますか？

子どもがまだ小さいこともあり、絵本を選ぶことが多いです。私が昔好きだった絵本を「おもしろい」と喜んでくれると、こちらもうれしくなりますね。

上の子は4歳になり、最近は文字が多い児童書にもチャレンジしています。一人で読み切るのはさすがに難しいみたいですが、分からない言葉などを積極的に質問してくるなど、コミュニケーションのきっかけにもなっています。

本を読むことで何か変化はありましたか？

初めのころは私がただ単純に読み聞かせをしていただけでしたが、近ごろは「絵本を読んで!」と子どもからお願いしてくることも少しずつ増えてきました。毎日継続して絵本を読むことで、読書の楽しさが分かってきたのかな、と感じています。

子どもと一緒に本を読んでいると、私も楽しい気持ちになります。子どもにはこれからも多くの本に出会い、読書をもっと楽しんでもらいたいです。

親子で読書を楽しめる、その時間が幸せです。

生きていく中で、自分の力で体験できることは限られています。しかし、本を読むことで知らない場所や見たことのない世界、遠い昔の時代に行くなど、さまざまなことを疑似体験できます。また、新しい知識を吸収すると視野が広がり、今まで思い付かなかった角度から物事を考えられるようになります。ぜひ、たくさんの本と触れ合ってみてください。

日ごろ本を読まない人は、どのようなジャンルの本が自分に合うかを迷ってしまうことがあります。そんなときは、図書館で相談してみてください。皆さんの希望に沿った本をスタッフがご紹介します。

本が自分の世界を広げてくれる



▲岡垣サンリーアイ図書館スタッフの皆さん